

第 6 期の主な成果と第 7 期の活動方針



2019年11月13日
農業女子プロジェクト事務局

「農業女子プロジェクト」 (2013年11月~)

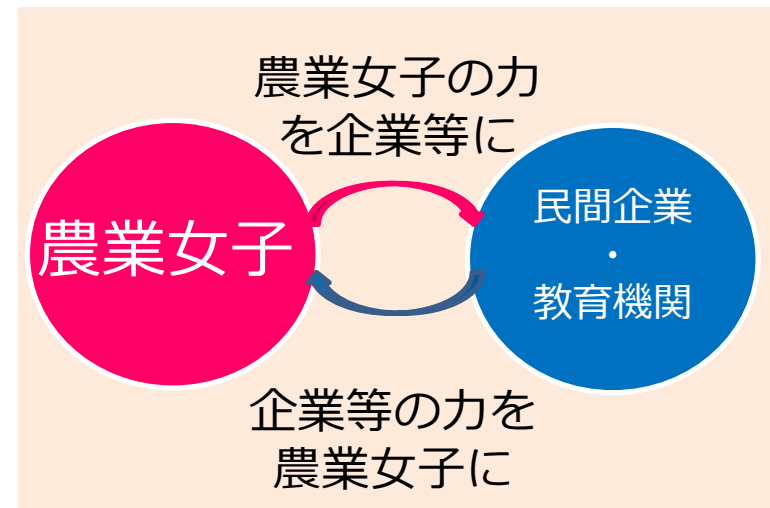
- 女性農業者の知恵を様々な企業の技術、ノウハウ、アイデアなどと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を社会に広く発信。
- プロジェクトを通して、**社会全体での女性農業者の存在感**を高め、**経営力の向上**を図り、**職業としての農業を選択する若手女性の増加**をめざす。

個別プロジェクトの推進

企業と女性農業者が協同で、新たな商品やサービス等を開発。農業女子の持つ3つのチカラ「生産力」「知恵力」「市場力」が発揮。

プロジェクトの広報活動

個別プロジェクトの進捗状況、イベントの開催等のプロジェクトの活動を発信 等

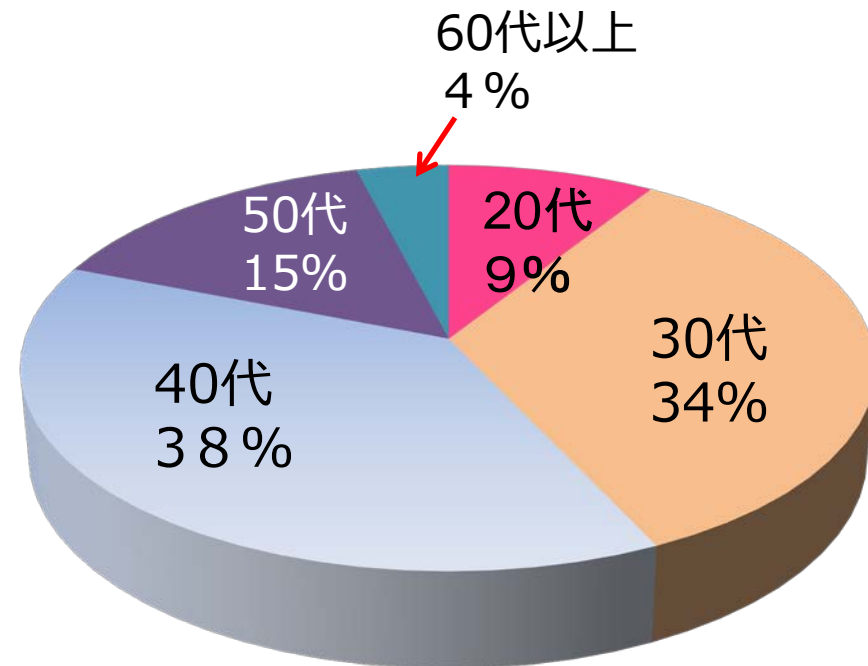


広く社会に発信

女性農業者の存在感を高める、企業連携によるビジネス発展、女性の職業選択肢に農業を！

農業女子メンバーは、790人超（2019年11月現在）

農業女子PJメンバーは、「私の仕事は農業です」と言えて、「自分の農業をもっと発展させたい」という意欲のある女性のみなさん。年齢制限なし。



農業女子メンバー年代別構成

【都道府県別人数】

- ①千葉県50人、②愛知県44人、③北海道40人、④長野県39人、⑤群馬県37人

【メンバーの就農ルート】

結婚を機に就農：33% 後継者：29% 新規参入：28%

第6期の成果

「農業女子プロジェクト」第6期の活動方針

農業女子
メンバー

- 農業女子ラボの企画提案と自主的な活動
- 企業プロジェクトやSDGs活動の提案と参加
- 積極的な情報発信

事務局

- 地方メンバーが参加しやすい環境づくり
⇒ SNSやTV会議の積極活用、地域でのイベント開催
- 個々の活動の融合に向けたサポート
⇒ メンバーの活動と企業を繋ぐ役割
- 公式HP・公式FB・インスタグラムでの発信をサポート

民間企業
教育機関

- メンバーの提案を活かした商品・サービス開発
- 若手女性、ファミリー層に向けた活動とPRの実行
- メンバーと連携したSDGs活動およびメンバーのSDGs活動のサポート

第6期の主な成果①

➤ やりたいことの自主提案を推進（農業女子ラボ）

- ・メンバーのアイデアや課題に共感する仲間を集め、農業女子ラボ化を支援
梅ラボ、輸出ラボ、畑deグランピングラボに加え、ドローンラボ、肉用牛ラボがスタート。



「農業女子的おもてなしグランピング」の実施に向け、熊本県でテストグランピングツアーを実施。
(2019年1月)



果樹の栽培管理や防除等におけるドローンの活用について、有識者を招いた勉強会や参加メンバー間での情報交換を実施。遠隔地の方は、TV会議方式で参加。



輸出ラボで、香港で、農業女子レストランマルシェを開催。
(2018年12月)



梅ラボに参加する3名のメンバーが開発した、梅の食べ比べセットを発売
(2019年5月)

➤ 全国から集まった農業女子が取り組むSDGs を発信 ～農業者のわたしたちにできる5つのこと～

- 1 健康的な食生活の実現に取り組む
- 2 農業体験から“食”と“農業”の大切さを教える
- 3 働きやすい環境をつくり、地域の主要産業になることを目指す
- 4 農村の魅力を発信し、地域の農業を維持する
- 5 自然によりそった持続可能な農業の実現に取り組む



第6期の主な成果③

➤ 地域活動・企業コラボ活動をサポート

・地域活動を推進する地域リーダーの創出(農業女子プロジェクトのスピナウトである、「おokayま農業女子」、「佐賀農業女子カチカチ農楽が〜る」、「Happy Farmingいいっちゃない福岡」に加え、2019年2月「やまがた農業女子ネットワーク」、同年4月「やまなし農業女子」、同年6月「しまね農業女子」が発足。メンバーのアイデアや課題に共感する企業とのコラボ活動の実施が促進。



県内の女性農業者が刺激しあい継続的に学ぶ場として「やまがた農業女子ネットワーク」が発足



女性ならではの視点を活かし、山梨の農業の魅力为社会に広く伝え、地域活性化を図りたいと「やまなし農業女子」が発足



情報交換や、県外、異業種との交流、情報発信、商品開発などを目指し「しまね農業女子」が発足



井関農機(株) × 地域農業女子
やまがた農業女子の企画による井関農機主催の農機取扱セミナーを開催!



ダイハツ工業(株) × 地域農業女子
軽トラマルシェ。第6期は全国13か所で開催し、大好評

第6期の主な成果④

➤ 地方メンバーが参加しやすい環境づくり

- ・梅ラボやドローンラボ、畑deグランピングラボなどで、無料のTV会議の活用による会議を実施するとともに、地域グループの増加や参画企業の協力による活動が活性化。

農業女子メンバーが加入する地域グループ設立時期(2019年9月現在)

農業女子PJ	PJ設立(2013.11)以前	1期～5期 2013.11～2018.10	第6期 (2018.11-)	合計
地域グループ 設立数	12	38	10	60

➤ 交流の場づくり

- ・全国の農業女子の交流の場として大農業女子会を2019年3月に開催。
第1部: 静岡県立大学岩崎教授によるセミナー「食と農をおいしくつなぐマーケティング」
全員参加型のワークショップ「農業女子的働き方改革！」を実施。
第2部: (株)ベイビー・プラネット 代表取締役・放送作家のたむらようこ氏と、(株)博報堂 クリエイティブディレクターの川下和彦氏によるトークショー「伝え方のひと工夫」を開催。
毎年恒例の農業女子メンバーによる加工品紹介コーナーも開催。



第6期の主な成果（チームはぐくみ）⑤

➤ はぐくみ校同士での交流も広がっています！

東京農業大学×近畿大学

東京農業大学の3キャンパスの教員・学生が、近畿大学農学部キャンパスを訪問。近畿大学の教育・研究活動（農業サークルGAVRi他）を紹介したのち、両大学における農業女子PJの取組状況についての情報交換・意見交換を実施。



東京農業大学×蒲田女子校

東京農業大学10名と蒲田女子高等学校1名の女子学生11名が、長野県でキャベツの収穫体験を中心としたプログラムに参加。また、農業女子メンバー3名を招き、学生と意見交換会を実施。



➤ 新規就農者を“はぐくみ”ました！

蒲田女子高等学校

卒業生のKさんは、昨年新規就農。農業女子PJにも参加しマルシェや同校にて講演を行った。その他、同校には、農業大学校への進学者がいる他、今年度は酪農家を目指す生徒さんが高大連携インターンシップに参加。

東京農業大学

卒業生のHさんは実家の農園に就農し、稲・麦・大豆を栽培。今年から農業女子メンバーに。同じく卒業生のNさんは、今年から農業生産法人に就職。在学中、チーム“はぐくみ”のイベントに積極的に参加。

第7期の活動方針

農業女子プロジェクト参画企業・教育機関 (令和元年11月現在)



農業女子PJ



<チーム“はぐくみ”>

アイグリ(株)

農家のみなさんに
届け! PJ Stage2

井関農機(株)

夢ある“農業女子”
応援PJ

(株)NTTドコモ

農業ICTで、農業
女子の更なる環境
改善・向上を!

(株)温泉道場

農業女子プロデュース
替わり風呂PJ

カネコ総業(株)

明るい農業応援!
Farm tools PJ

桜美林大学

農業女子という未来型
ライフスタイル

キューピー(株)

あいち みんなのサラダ

コンビ(株)
コンビウィズ(株)

「おいしい!」を未来まで
つなげようPJ

(株)サカタのタネ

ハッピーベジタブルで「新野菜」
の需要創造PJ

(株)しまむら

農業女子のまいにち服

シャープ(株)

夏の作業もTEKION(テキ
オン)でクールに決めよう!

蒲田女子高等学校

農業からはばたけ!
チャレンジ&応援PJ

城北信用金庫

「作る」から「創る」へ!
ビジネス&ライフ応援PJ

(株)精工

女子力で経営力と
ブランド力を向上!

(一社)全国農協観光協会

農業女子つ・な・ぐ
プロジェクト

象印マホービン(株)

農業女子 in ライスマイル
プロジェクト

ダイハツ工業(株)

農業女子マルシェ ×
ハイゼットトラック 全国展開

近畿大学

近大流農業女子育成PJ

(株)タニタ

ご当地タニタごはんコンテスト
を通じて農業女子と
健康まちおこし!PJ

大日本印刷(株)

農業女子の未来の
あたりまえをつくるPJ

(株)近正

農作業を快適に!!
農業女子サポート PJ

(株)東邦

汚れも悩みもスッキリ!
農業をもっと楽しく!PJ

(株)東洋ハウジング

農業女子と考える、
住まいと地域のミライPJ

産業能率大学

農(みのり)の絆PJ
@2020

(株)東和コーポレーション

はたらく笑顔総生産
向上プロジェクトFINAL

豊島(株)

農業女子的
ファッション改革PJ

(株)バンダイナムコ
アミューズメント

『農業×エンタ
メ』創出PJ

日本農薬(株)

明日の農業女子を
考える日農 PJ

フマキラー(株)

「素敵・未来・ガーデン」
PJ

東京家政大学

ワークライフバランス
in 農業女子PJ

(株)丸山製作所

女性が求める『雑草対策』
応援プロジェクト(第2弾)

(株)三越伊勢丹

想いを‘形にする・
伝える・届ける’PJ

(株)桃谷順天館

農業女子の美肌を
応援する共創PJ

(株)モンベル

フィールドウェア
開発PJ

ヤマト運輸(株)

農業女子×クロネコヤマトの
「物流支援を考える」PJ

東京農業大学

新たなワークスタイルを
提案するkawaii
農業女子育成PJ

楽天(株)

農業女子販路拡大PJ

(株)レンタルのニッケン

農業女子的
労働環境改善PJ

(株)ワコール

すごい下着発明部
農学科PJ vol.3



山形大学

地域がはぐくむ未来の
農業女子PJ

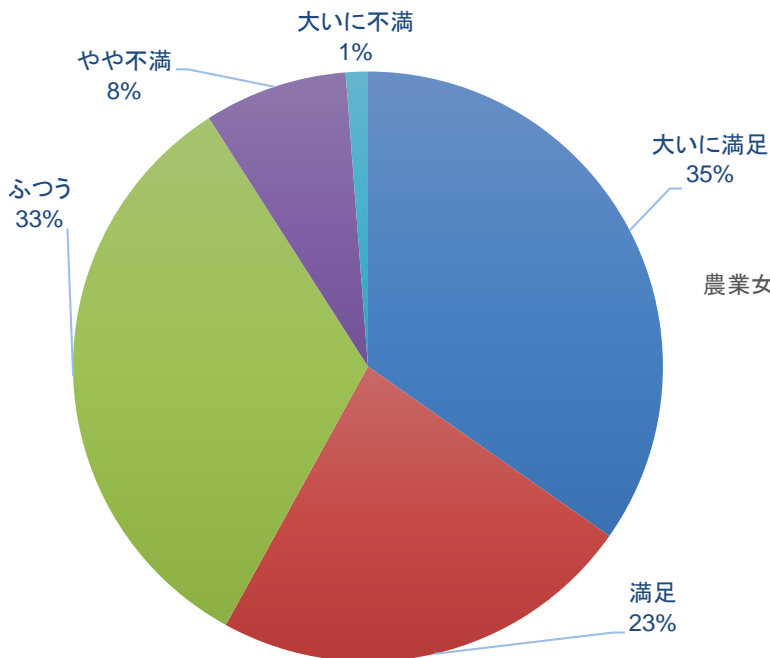
農業女子メンバーへのアンケート結果①

- プロジェクトに参加したことについて、回答者の58%が満足、9%が不満と回答
不満の主な理由は、
 - ・首都圏でのイベント開催が多い
 - ・時間の確保が難しく参加できない など

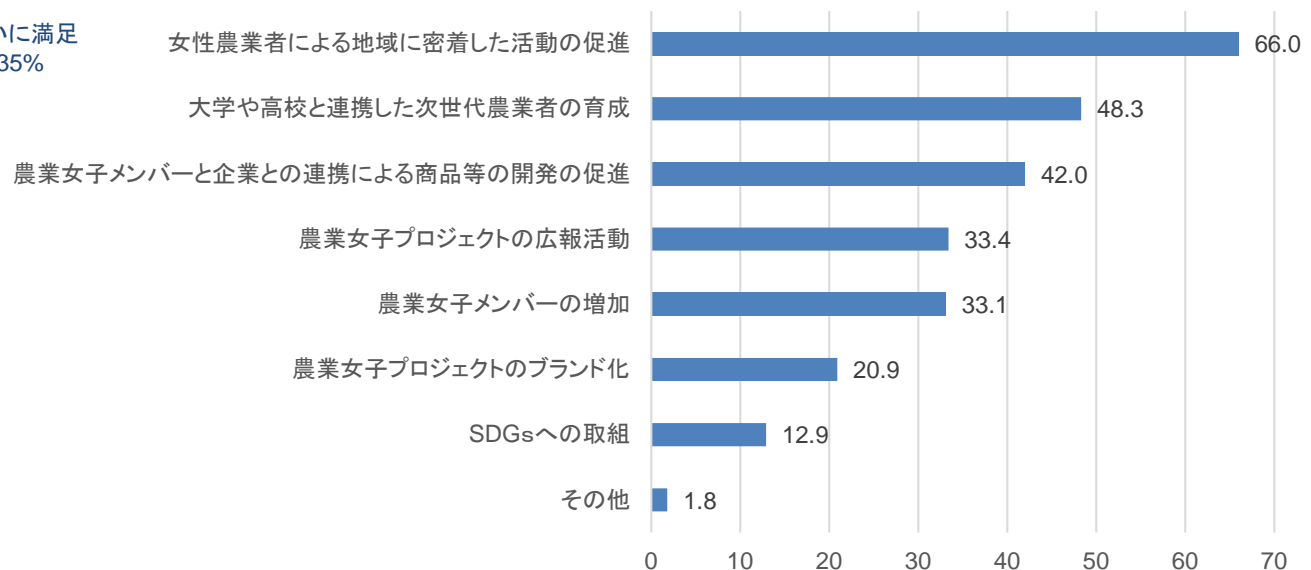
回答者数331名

- プロジェクトは今後何を重点的に進めるべきか
 - ・女性農業者による地域に密着した活動の促進
 - ・大学や高校と連携した次世代農業者の育成
 - ・農業女子メンバーと企業との連携による商品等の開発促進 の順に多い

農業女子プロジェクトへの満足度



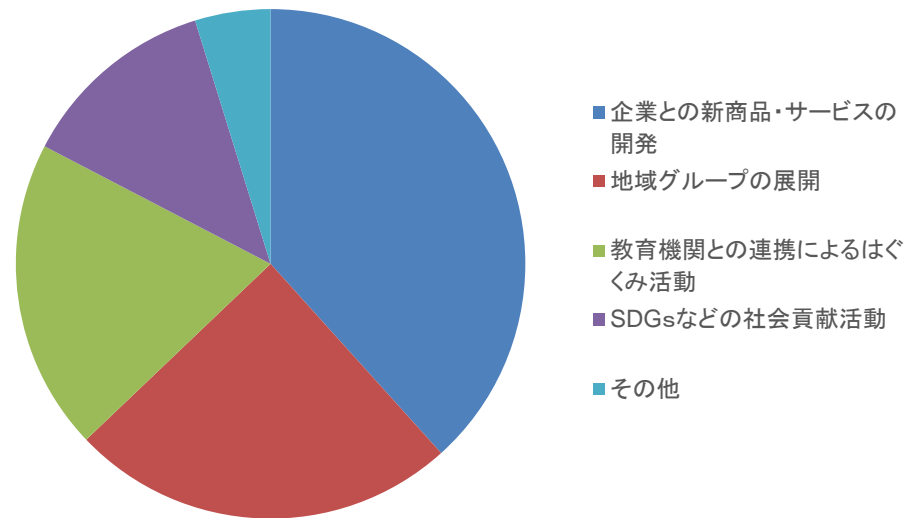
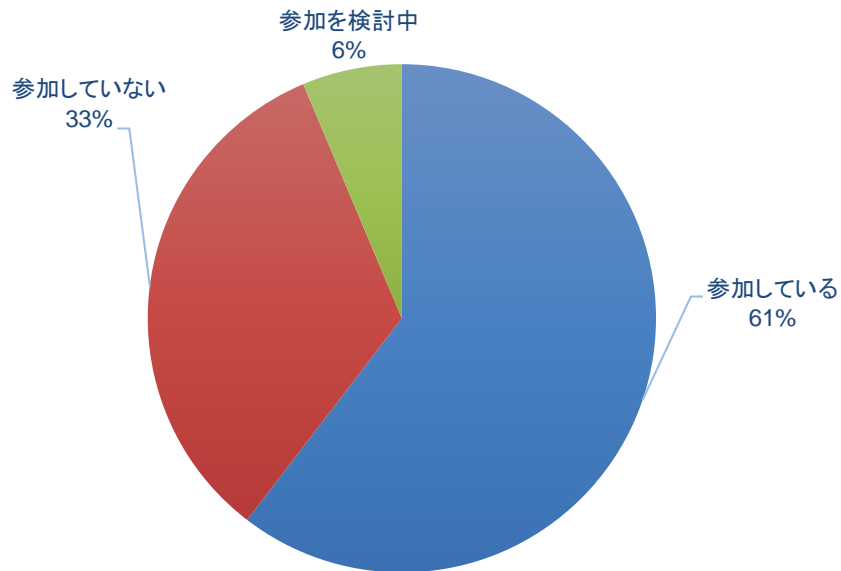
農業女子プロジェクトは今後何を重点的に進めるべきか



農業女子メンバーへのアンケート結果②

- 地域グループへの参加状況
地域グループへの参加は、3分の2が参加している又は参加を検討中
 - ・参加している 61%
 - ・参加を検討中 6%
 - ・参加していない 33%
- 地域グループに参加しない主な理由
 - ・地域グループ等に関する情報がない
 - ・近くに参加できる地域グループがない
 - ・自分に合う地域グループ等がない（レベル、世代間ギャップ等）

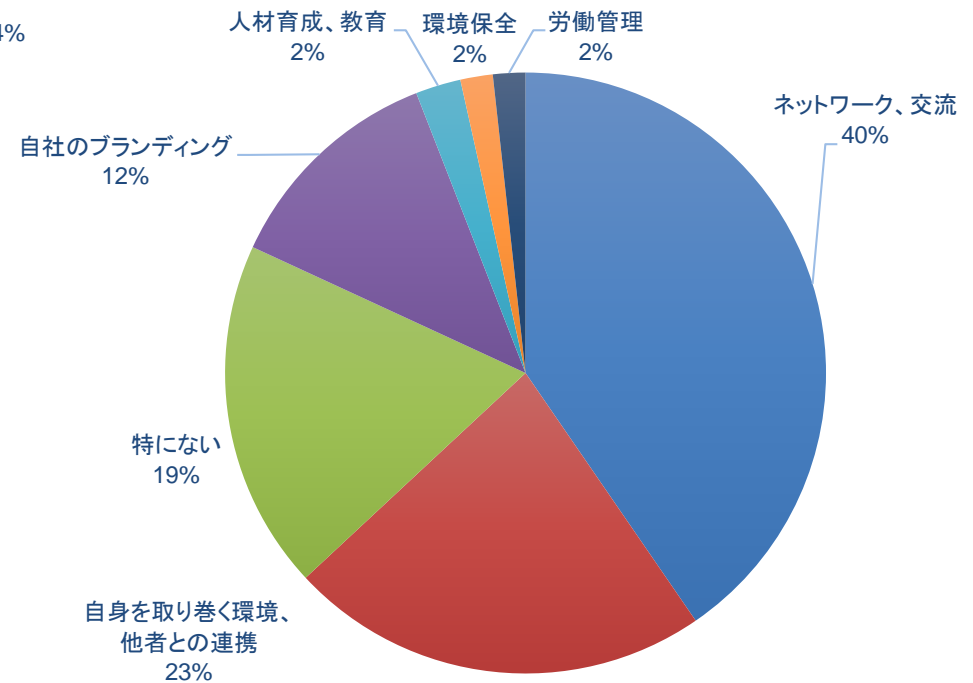
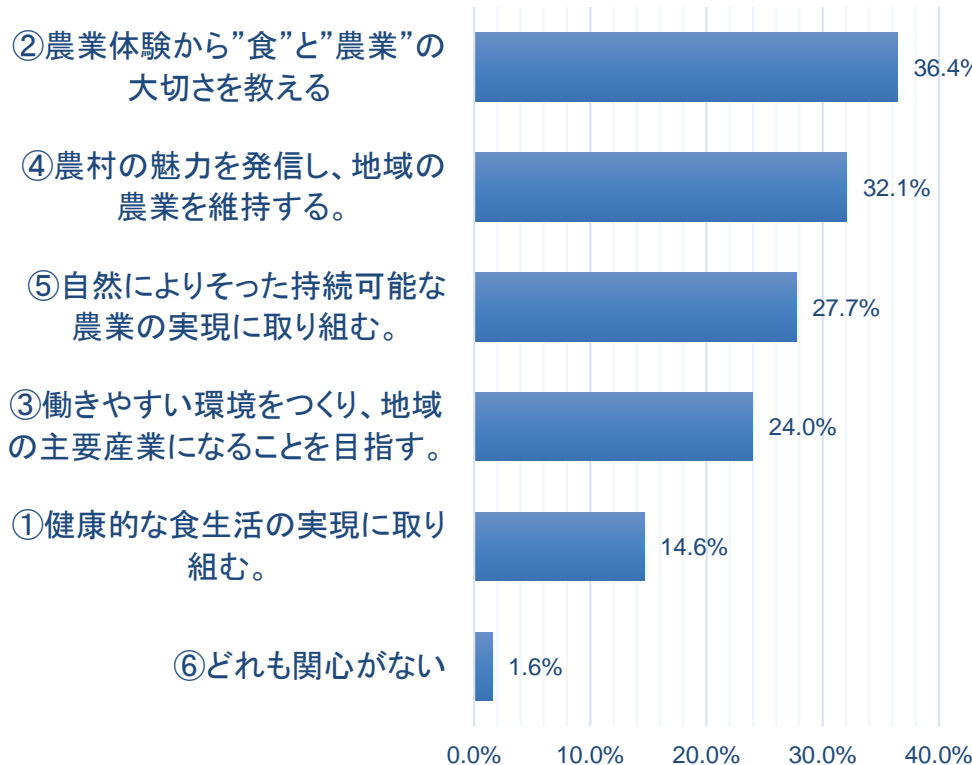
- 女性農業者の社会での存在感を高めるために、農業女子プロジェクトで積極的に発信する情報・活動として何が最も効果的か
 - ・企業との新商品・サービスの開発が、38%と最も高く、地域グループの展開が24%と続いた。
 - ・また、男性農業者へ向けた発信、突出した女性農業者のプレイアップ等もあった。



農業女子メンバーへのアンケート結果③

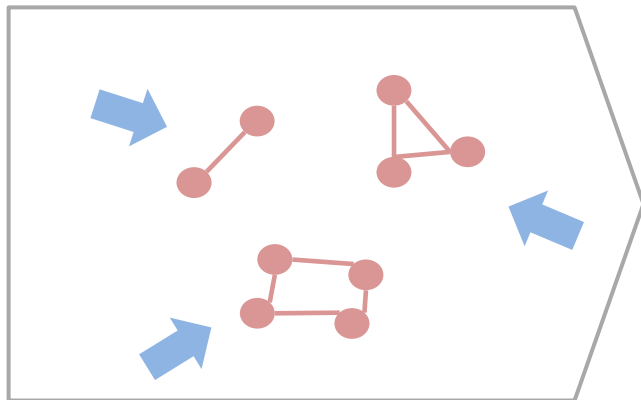
- 農業女子プロジェクトは、第6期にSDGsについて取り組んでいくことを宣言し、「持続可能な社会の実現のために農業者にできる5つのこと」を公式サイトに発表
- 関心が高い取組は、「農業体験から“食”と“農業”の大切さを教える」、「農村の魅力を発信し、地域の農業を維持する」

- 農業女子プロジェクトに参加する前と比べて、最も自分の考えが変わった点・改めて気づいた点は、
 - ・ ネットワーク、交流 (40%)
 - ・ 自身を取り巻く環境、他社との連携 (23%)
 - ・ 自社のブランディング (12%) が多い。



グループ同士の繋がりづくりによる 全国の農業女子メンバーのネットワーク強化！

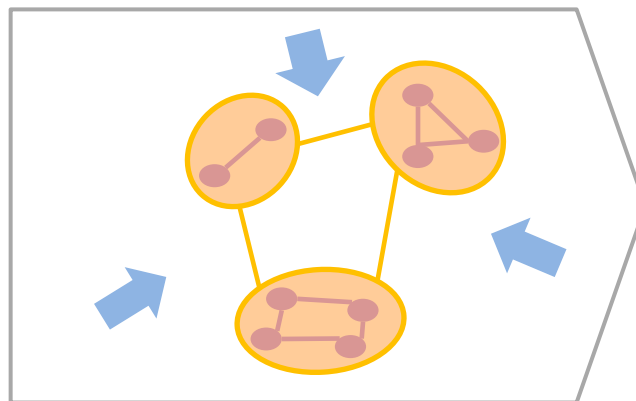
STEP①



農業女子同士で
目的達成に向けた
仲間づくり！

地域つながり、やりたいことつながりなど、仲間が集まればできることも増える♪

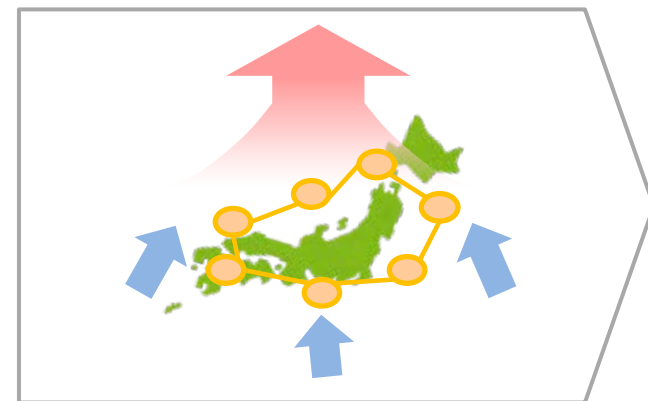
STEP②



グループ同士の
繋がり強化で
もっと発展！

各グループ同士の交流、学びあい、連携は、各グループ、個々のメンバーの発展につながる！

STEP③



全国のグループネットワーク
を活用して社会全体で女性
農業者の存在感UP！

第7期の活動テーマ

グループ同士の繋がりづくりによる
全国の農業女子メンバーのネットワーク強化！



3つの活動方針

- 1 地域グループや農業女子ラボ等の自主的な活動の推進
- 2 グループ間のネットワーク作りの促進
- 3 SDGsに係る取組の推進（6期に引き続き）

～ ブレインストーミング ～

この方針でプロジェクトを進めていくために、
農業女子プロジェクトメンバー、参画企業、はぐくみパートナー、事務局で
一緒に考えてみましょう！

自分に合った
参加できるような
グループが無い

ネットワーク作りを
しようにも
他のグループに
関する情報がない

他のメンバーと
知り合う
機会がない

「自主的な提案」
は難しい



農業女子アンケート等が出てきた課題について
「例えばこんな方法ができるかも？」
というアイデアを事務局でも考えてみました。
これについての皆様のご意見、
他にこんなアイデアはどう？という提案なども
ぜひ教えてください！



活動方針

1 地域グループや農業女子ラボ等の自主的な活動の推進

課題

解決策

①

他のメンバーと
知り合う
機会がない

どんなアイデアがありますか？

例えば…



農業女子

- ・ SNS等で他のメンバーとのつながり作り
- ・ 事務局に相談して、近隣グループやラボの会合やイベントに参加



事務局

- ・ メンバーから相談があれば、他のメンバーを紹介



活動方針

1 地域グループや農業女子ラボ等の自主的な活動の推進

課題

解決策

②

自分に合った
参加できるような
グループが無い



どんなアイデアがありますか？

例えば…



農業女子

- ・事務局から情報を入手して、近隣グループやラボの会合やイベントに参加する
- ・事務局に相談しながら自らグループやラボを作る



事務局

- ・新たにグループを作りたいという意向がある地域について、農政局（支局）と連携してメンバーが集まる機会を作る
- ・メンバーから相談があれば、近隣の地域グループやメンバーの希望に合う農業女子ラボを紹介
- ・グループ作りのための組織作りや運営のノウハウを共有する

活動方針

1 地域グループや農業女子ラボ等の自主的な活動の推進

課題

解決策

③

「自主的な提案」
は難しい

どんなアイデアがありますか？

例えば…



農業女子

- ・事務局から具体的な事例の提供を受け、グループで話し合ってみる



事務局

- ・必要な情報や参考事例等を提供して、グループの提案作りをサポート
- ・グループからの提案があれば、参画企業や教育機関の窓口につなぐ。



参画企業

- ・提案を検討し、対応できるものは対応。地域レベルでの提案については、当該地域の支社・支店につなぐことも検討する。



活動方針

2 グループ間のネットワーク作りの促進

課題

解決策

④

ネットワーク作りをしようにも
他のグループに関する情報がない

どんなアイデアがありますか？

例えば…



農業女子

- ・グループの情報をSNSなどで発信するとともに、事務局とも情報を共有する。
- ・事務局からグループの情報入手する。



事務局

- ・公式ウェブサイト上の地域グループ情報を充実させる。
- ・他のグループに係る照会があれば情報提供する。



活動方針

2 グループ間のネットワーク作りの促進

課題

⑤

農作業の日程が
合わなかったり、
旅費がない等により
物理的に会う
ことが難しい



解決策

どんなアイデアがありますか？

例えば…



- ・地域ブロック内で集まる等、できそうなことを検討する。



- ・事務局又は農政局がブロック内で集まるきっかけ作りをする（研修会等を企画する。）
- ・各地域ブロックから持ち回りで代表グループに推進会議に出席してもらう方式にする。
- ・農業女子ラボからも持ち回りで代表ラボが出席できるよう、検討する。
(推進会議の出席者を8ブロックから1名ずつに加えて1名追加し、9名とする。)

活動方針

3 SDGsに係る取組の推進（6期に引き続き）

課題

解決策

⑥

取り組むメンバー
が少なく
手を挙げづらい

どんなアイデアがありますか？

例えば…



事務局

- ・事務局でメンバー全体が取り組めるプロジェクトを検討する。



農業女子

- ・事務局の提案するプロジェクトに参加する。



活動方針

3 SDGsに係る取組の推進（6期に引き続き）

課題

解決策

⑦

メンバー独自に
取り組むには
費用がかかる

どんなアイデアがありますか？

例えば…



参画企業
教育機関

- ・既存の取組でメンバーが参加可能なプロジェクトがあれば、希望するメンバーの属性を明確にして事務局に共有する。



事務局

- ・参画企業や教育機関からの情報を踏まえてメンバーに希望を取り、候補者をリストアップして企業や大学の取組とマッチングする。



農業女子

- ・企業の取組で参加できるものがあれば参画する。



活動方針

3 SDGsに係る取組の推進（6期に引き続き）

課題

解決策

⑧

取組を知ってもらう
ためには
効果的なPRが
必要

どんなアイデアがありますか？

例えば…



農業女子

- ・ SNS 等で取組を発信する。



事務局

- ・ SNS や公式ウェブサイト
でプレイアップする。



参画企業
教育機関

- ・ SNS 等での発信について可能な範囲で
協力する。
(協力の申し出のあった教育機関あり)



農業女子メンバーとともに

参画企業や教育機関がそれぞれの目標に向けて活動を発展させるために
どのような希望があるか、どのような方法があるか、
ぜひアイデアを聞かせて下さい。

例えば・・・

- はぐくみパートナー間の交流強化
 - ・ 連絡会
 - ・ 将来的には当番制で交流会や勉強会
- 企業間の交流

